

【令和 8 年度第 1 回地域産業動向調査】

「景況感調査」

西武信用金庫 経営企画部

地域経済産業研究センター

keieikikaku@seibushinkin.com

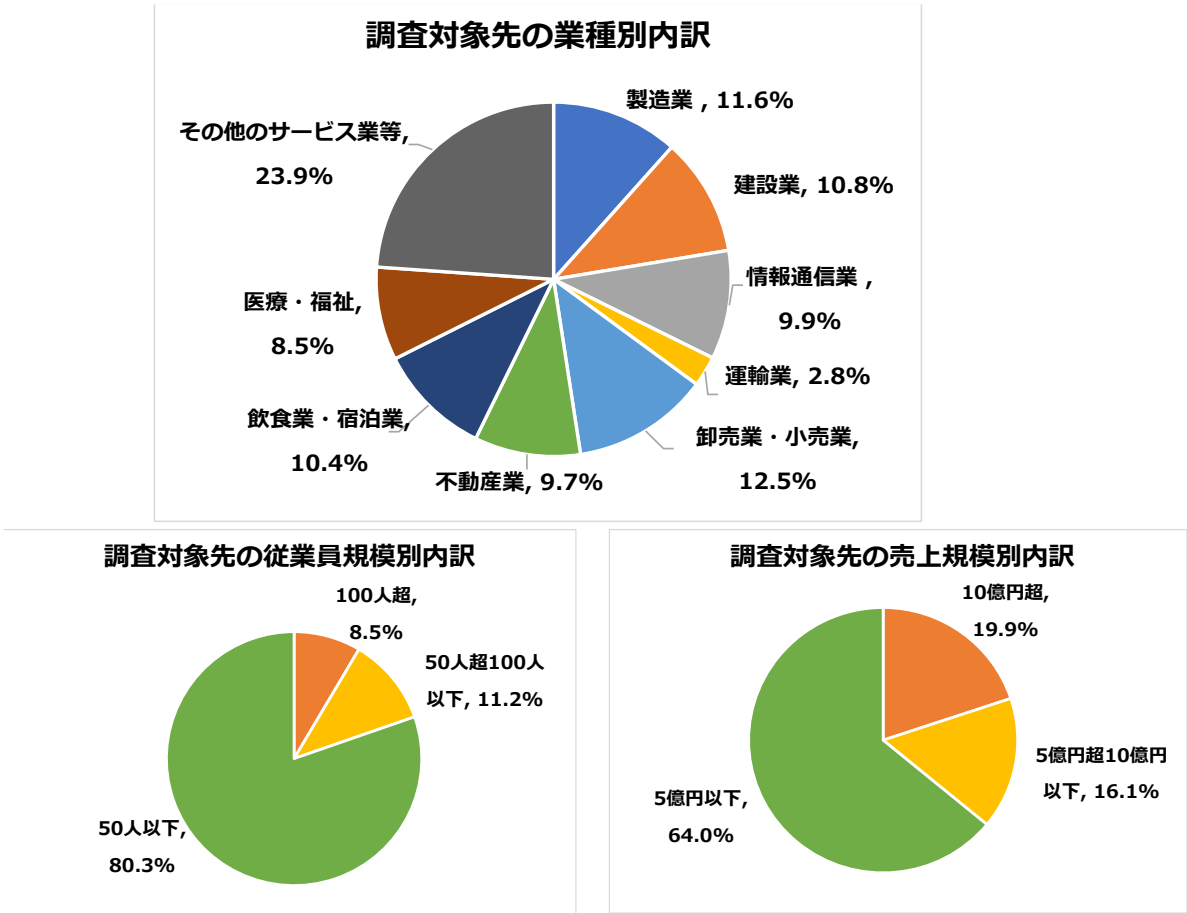
当金庫では、地域企業の皆さまのより良い支援に活かすため、お取引のある法人の皆さまにご協力をいただき、景況感や業況に関する実態調査を定期的に行っています。当レポートがお客様の経営に少しでもお役に立てれば幸いです。

＜調査の概要＞

- (1) 調査の対象
2026 年 3 月末時点の法人のお客様のうち、3,407 社を抽出して対象先としました。
(抽出条件)
下記の①～③を満たすお客様
① 決算書を提出いただいている
② 一定以上の取引があり営業担当者が訪問している
③ 従業員数が一定数以上
- (2) 調査事項
① 景況感・業況に関する内容
② 手形・小切手廃止に関する内容
- (3) アンケート回答の回収方法
営業担当者による聞き取り調査
- (4) 調査期間
2026 年 5 月 18 日～6 月 26 日
- (5) 回答社数
3,311 社（回答率 97.1%）

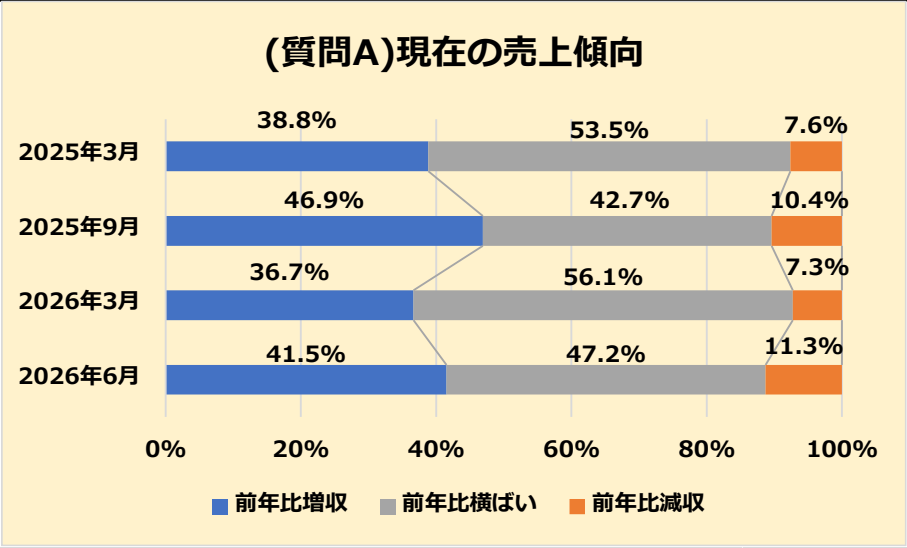
1. 調査対象先の概要

回答いただいた 3,311 社の業種別、売上規模別、従業員規模別の内訳は以下のとおりです。

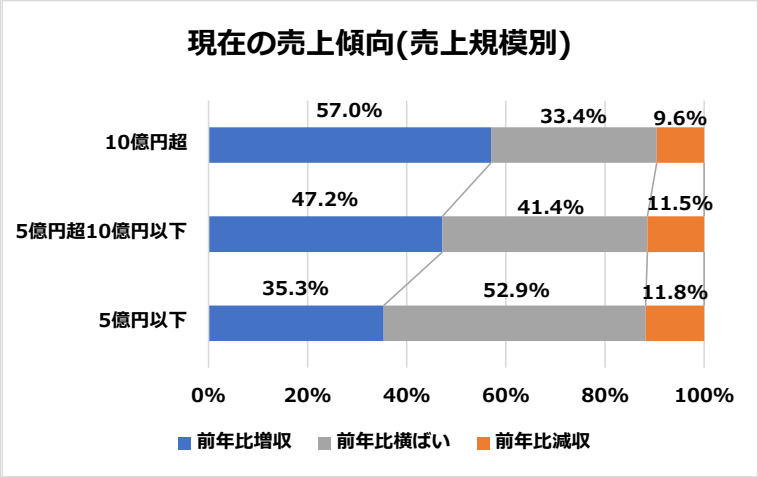
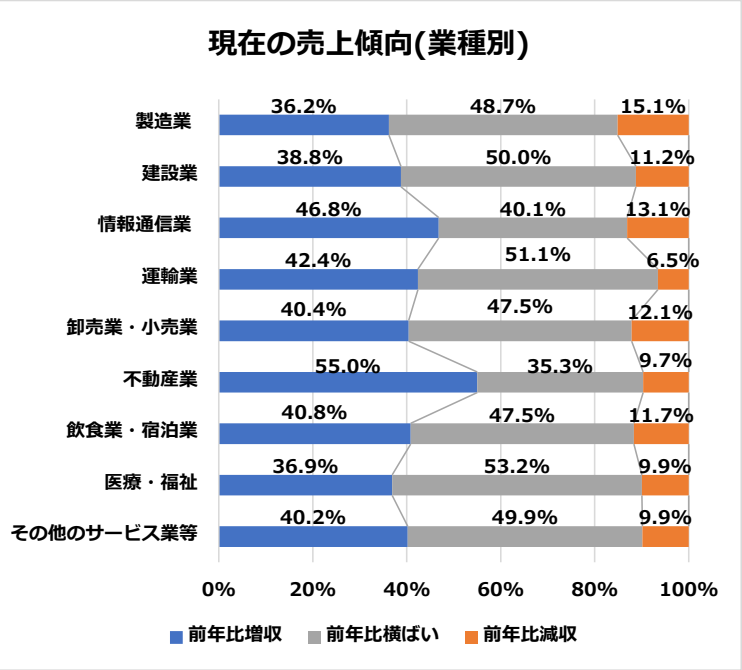


2. 定例調査「景況感・業況について」調査結果

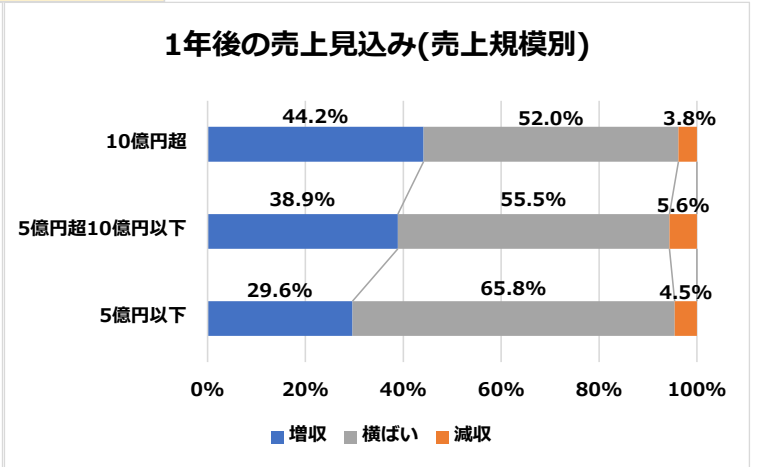
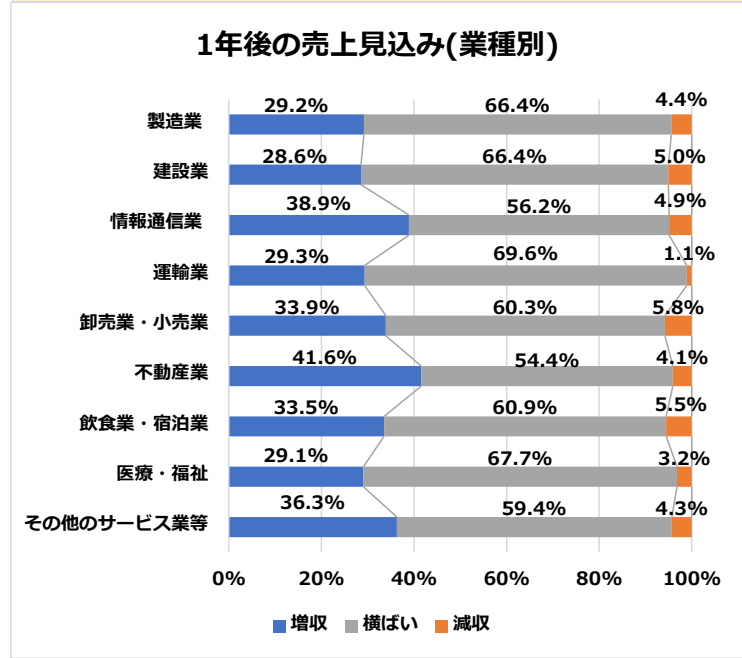
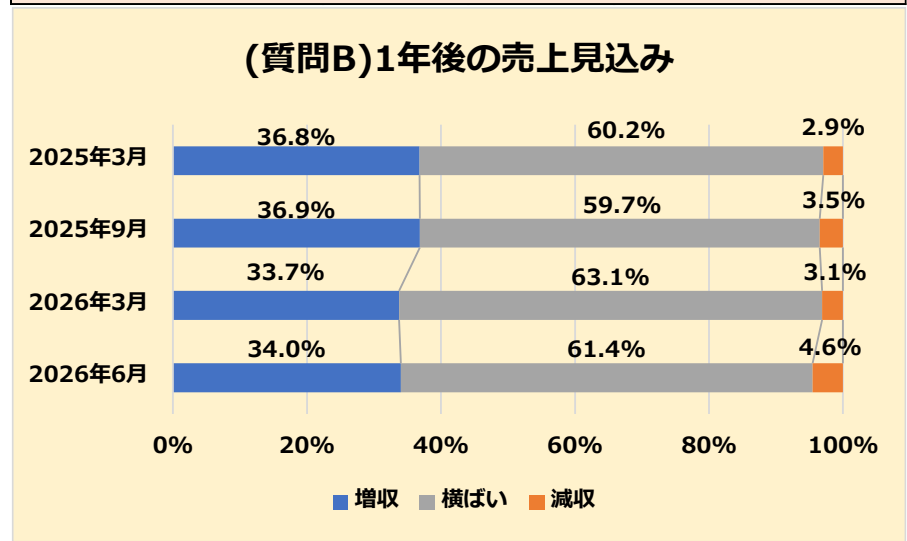
質問A)現在の売上の傾向はいかがですか



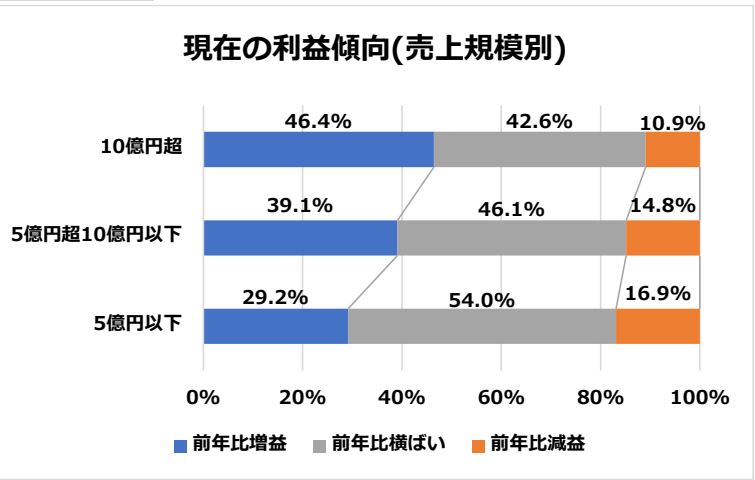
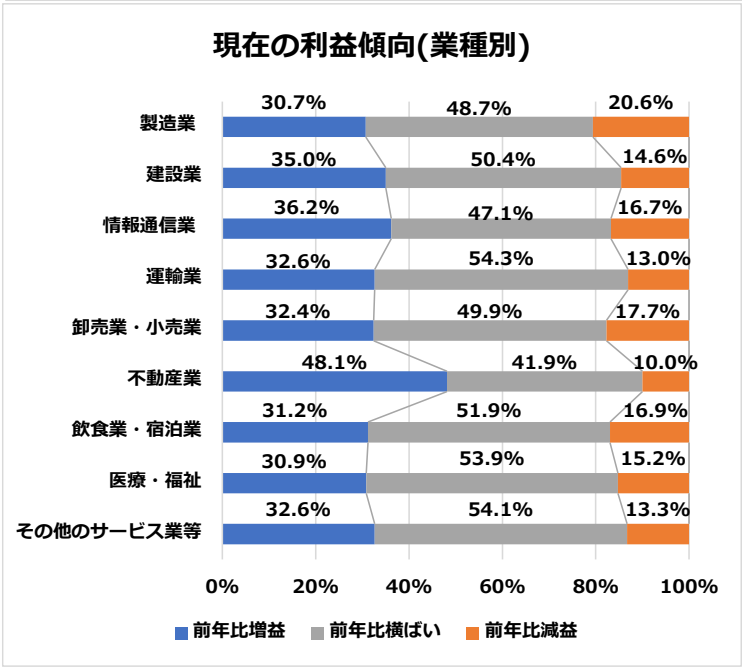
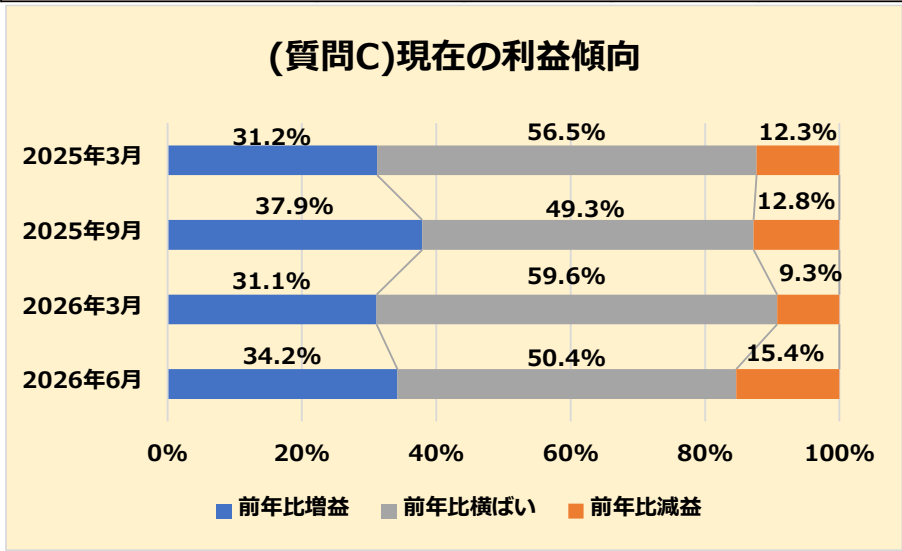
現在の売上、利益の傾向については、前回（2026 年 3 月）に比べ、増収や増益の会社が増えると同時に減収や減益の会社も増えています。



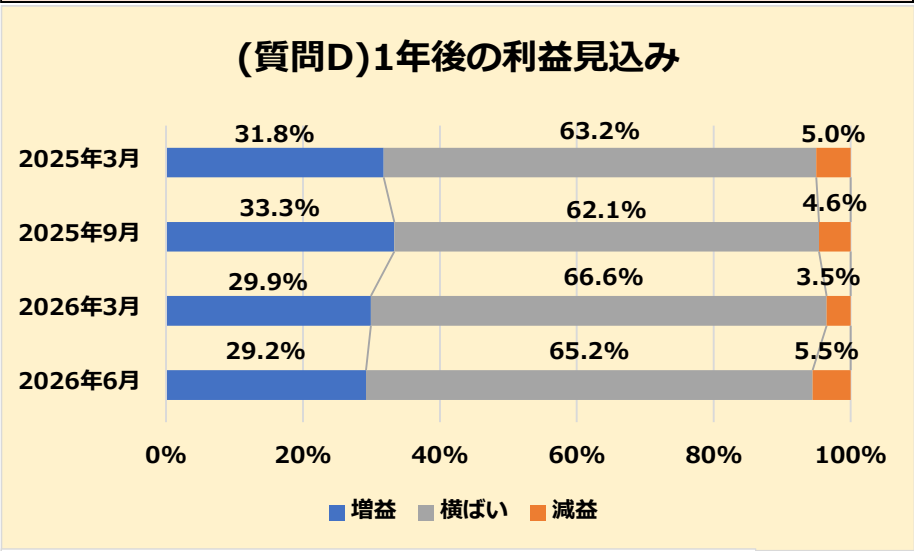
質問B)1年後の売上の見込みはいかがですか



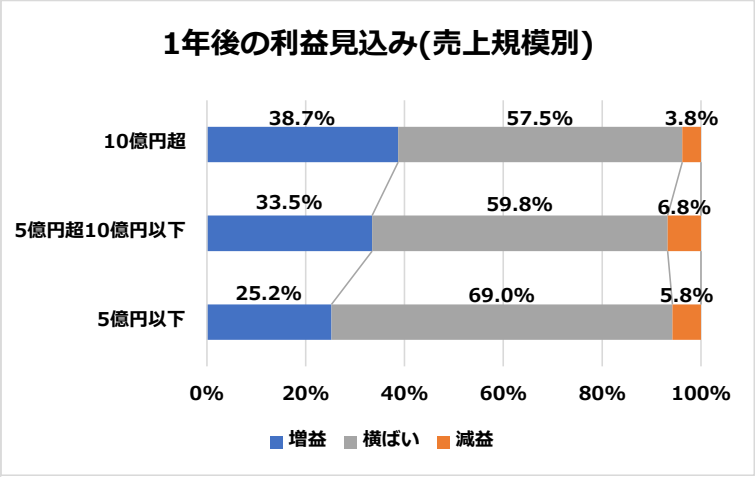
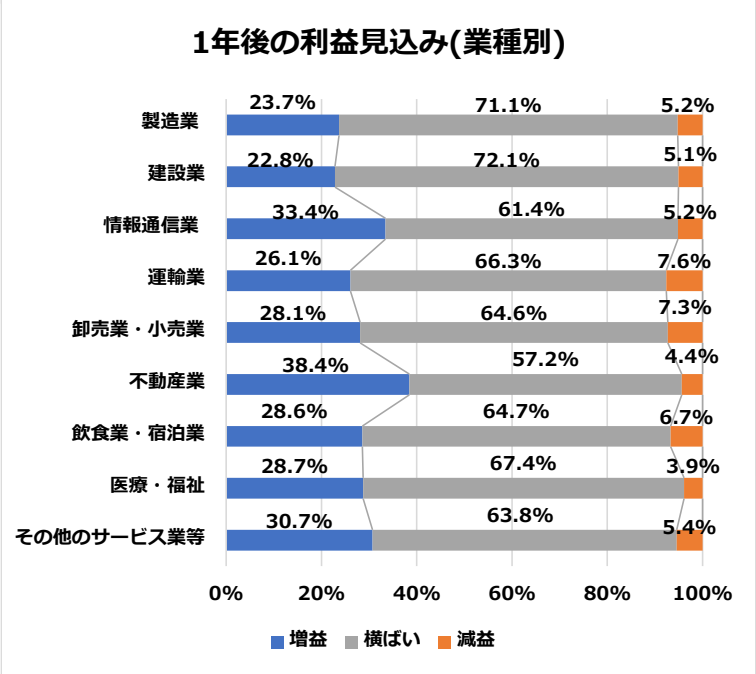
質問C)現在の利益の傾向はいかがですか



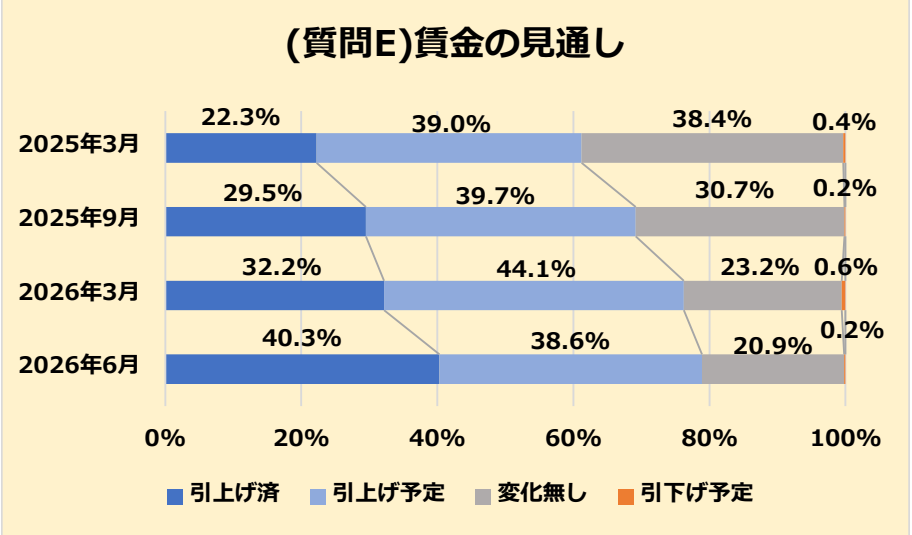
質問D) 1年後の利益の見込みはいかがですか



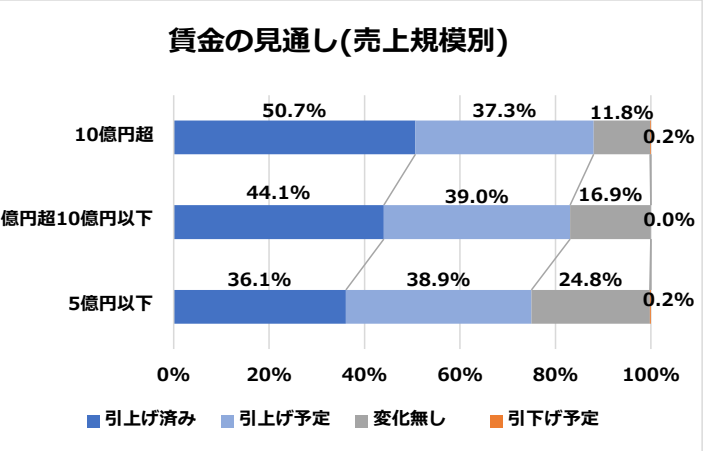
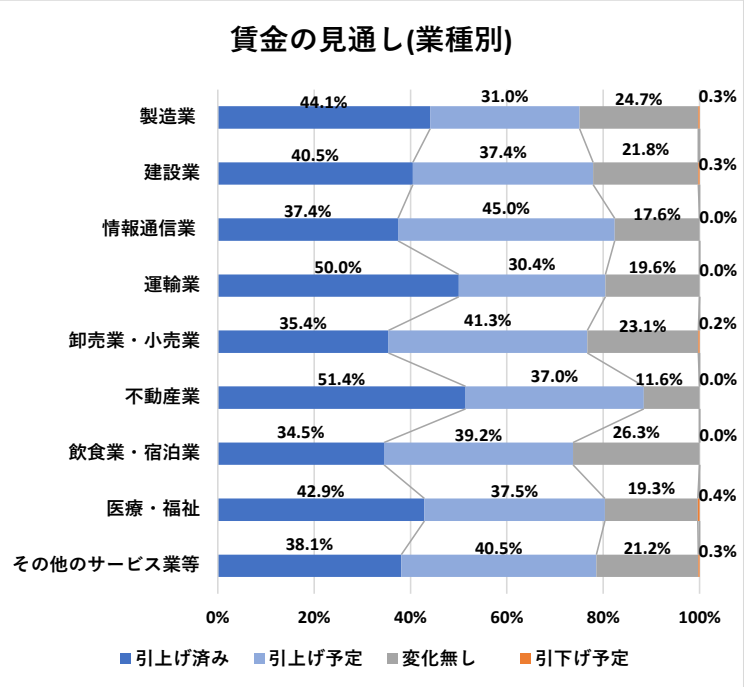
1年後の見込みについては、売上も利益も前回(2026年3月)から大きな変動は見られませんでした。強いて言えば減益見込みが若干多くなっています。昨今の原材料費や人件費等の高騰が減益の要因になると考えられますが、現時点では、それほど大きな影響が出ていないことがわかります。



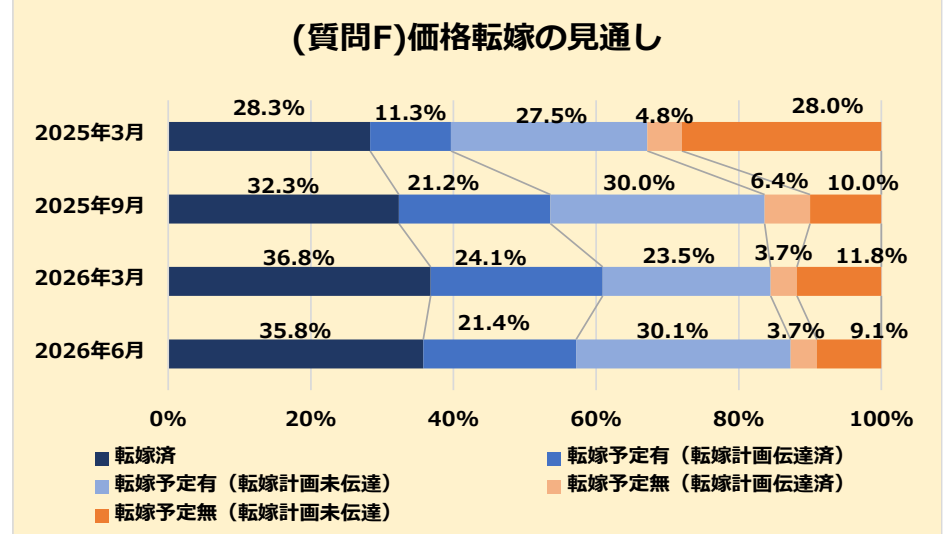
質問E)賃金の見通しは次のうちどれですか



前回（2026 年 3 月）に続き、賃金の引上げ傾向が見られます。

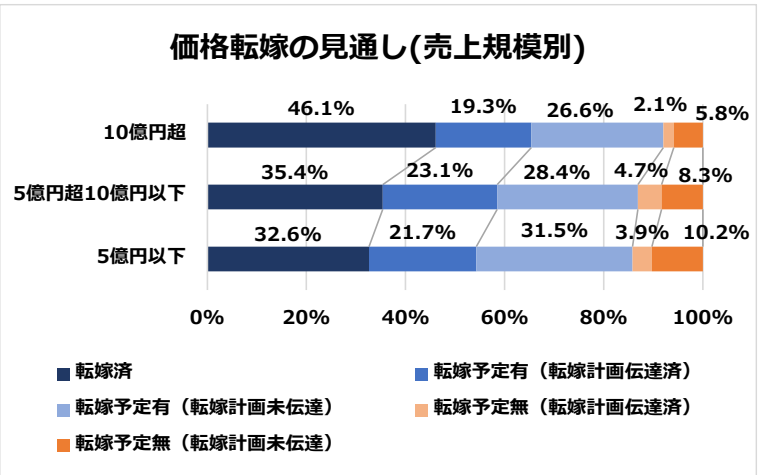
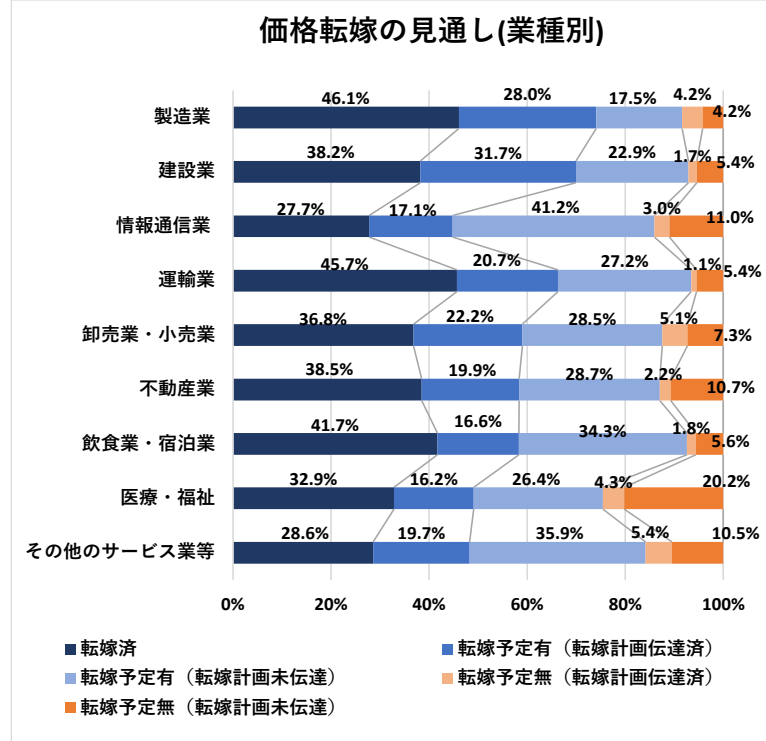


質問F)価格転嫁の見通しは次のうちどれですか

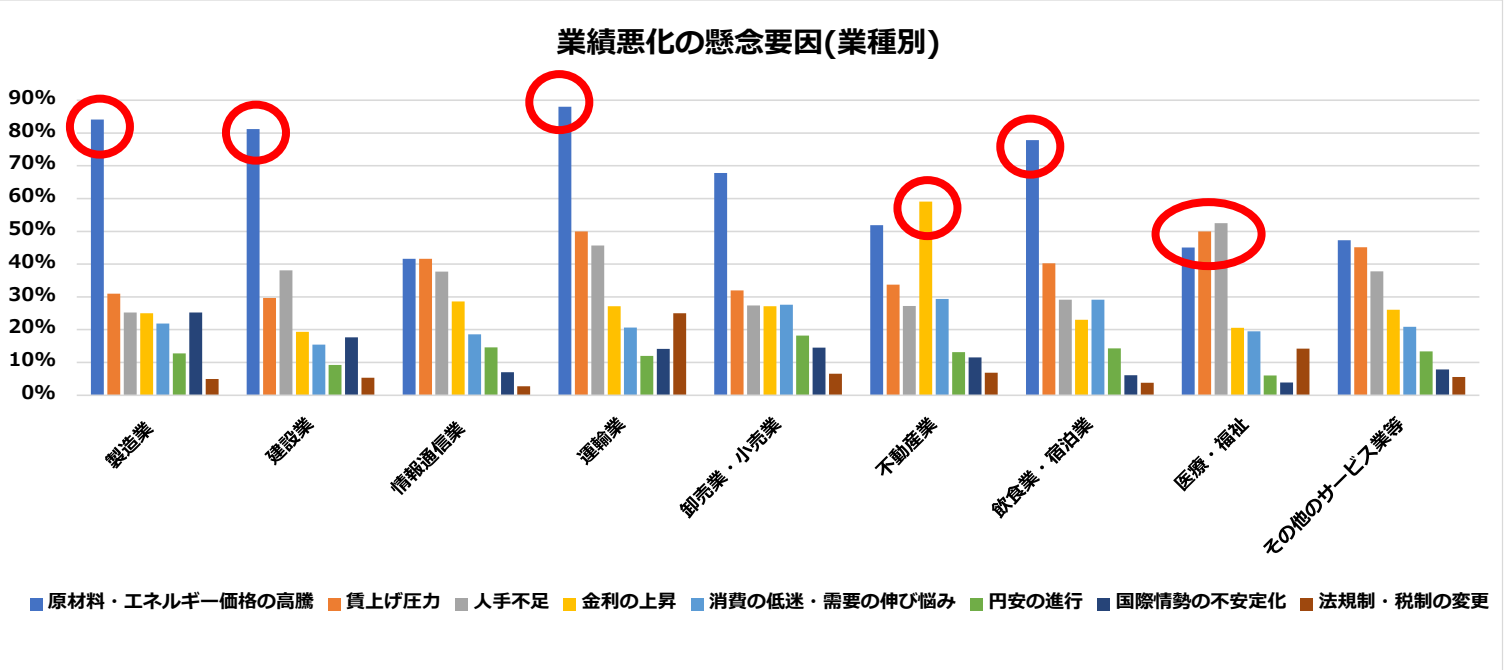
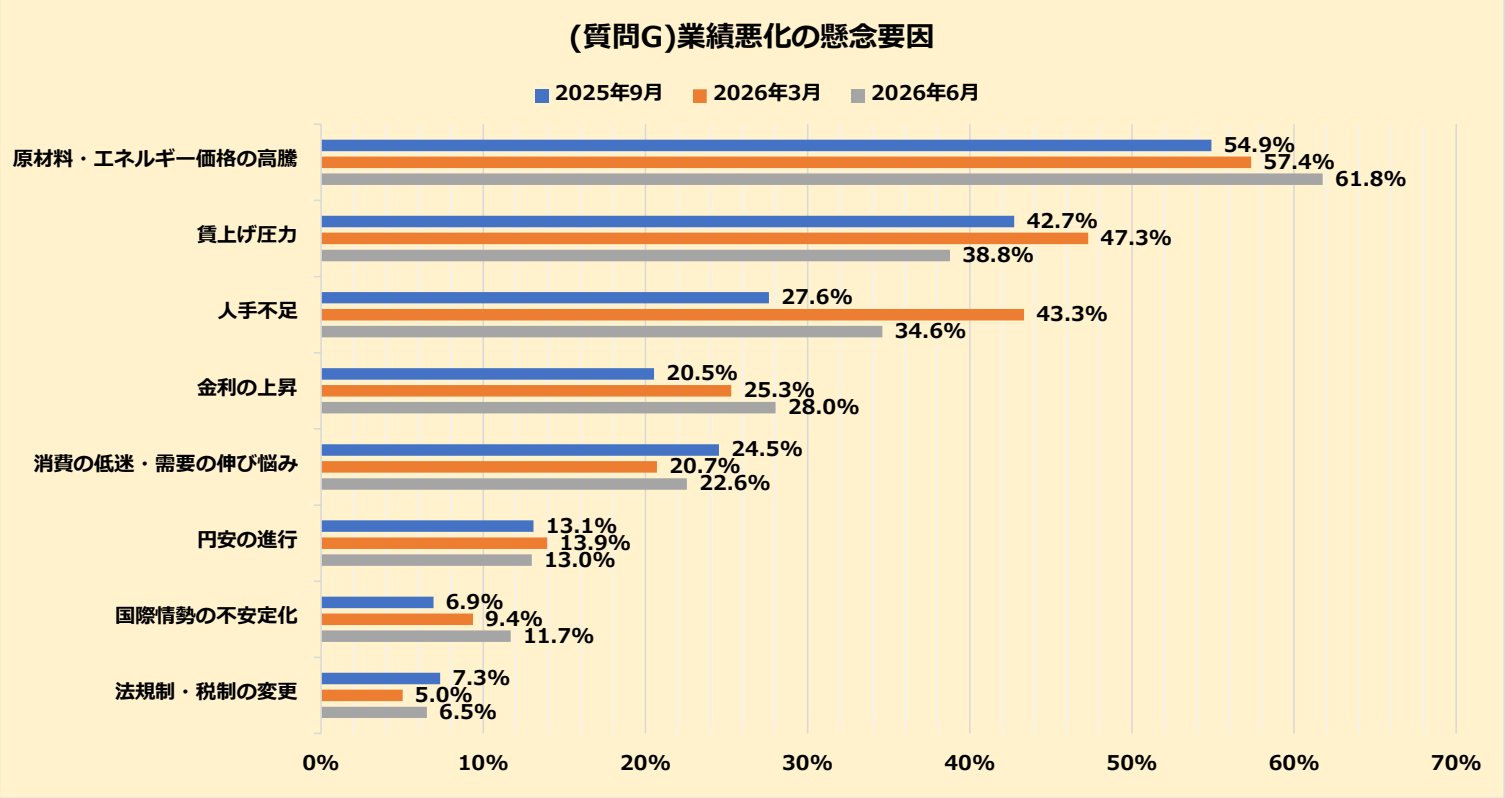


・価格転嫁については、前回（2026 年 3 月）に続き「転嫁済」と「転嫁予定有」の合計が増え、総じて価格転嫁が進んでいると考えられます。

・ただし内訳をみると、「転嫁済」「転嫁予定有（転嫁計画伝達済）」が前回は若干下回っており、コスト増のペースに価格転嫁が追い付いていない可能性が考えられます。



質問G)今後1年間、業績悪化の要因として懸念されるのは次のうちどれですか ※複数選択可



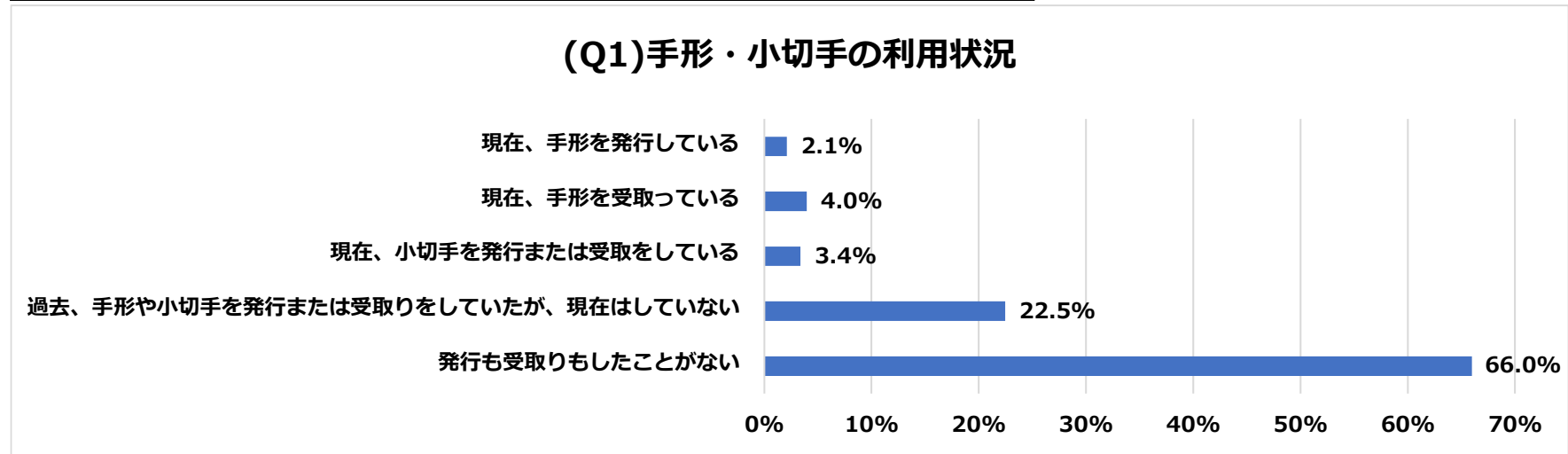
・業績悪化の懸念要因（複数選択可）は、前々回・前回と同様に「原材料・エネルギー価格の高騰」の回答率(61.8%)が最も多く、さらに増えています。業種別では、運輸業を筆頭に、製造業、建設業、飲食業・宿泊業の懸念が強いことがわかります。

・次いで「賃上げ圧力」「人手不足」が多いのは前々回・前回と同様ですが、回答率自体は前回よりも減っています。これは、賃上げや人手不足の状況は慢性化しており、別の懸念要因が強まった結果、「賃上げ圧力」「人手不足」に対する懸念が相対的に下がったことが理由として考えられます。業種別では、医療・福祉が「人手不足」、「賃上げ圧力」への懸念が強いようです。

・前々回・前回より「金利の上昇」との回答率が増えており、業種別では、特に不動産業に顕著です。

3. 「手形・小切手の廃止について」調査結果

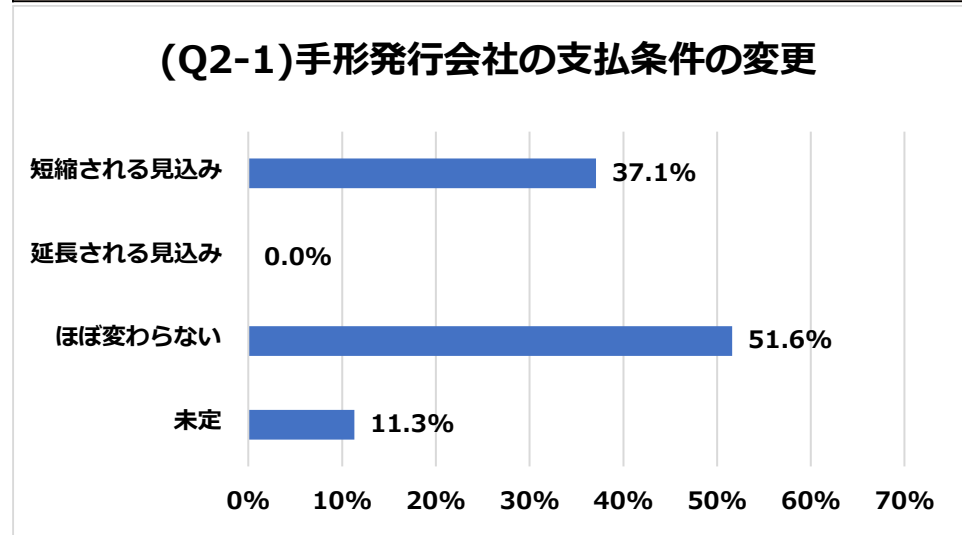
Q1)現在の手形・小切手の利用状況についてお聞かせください ※該当するものすべて



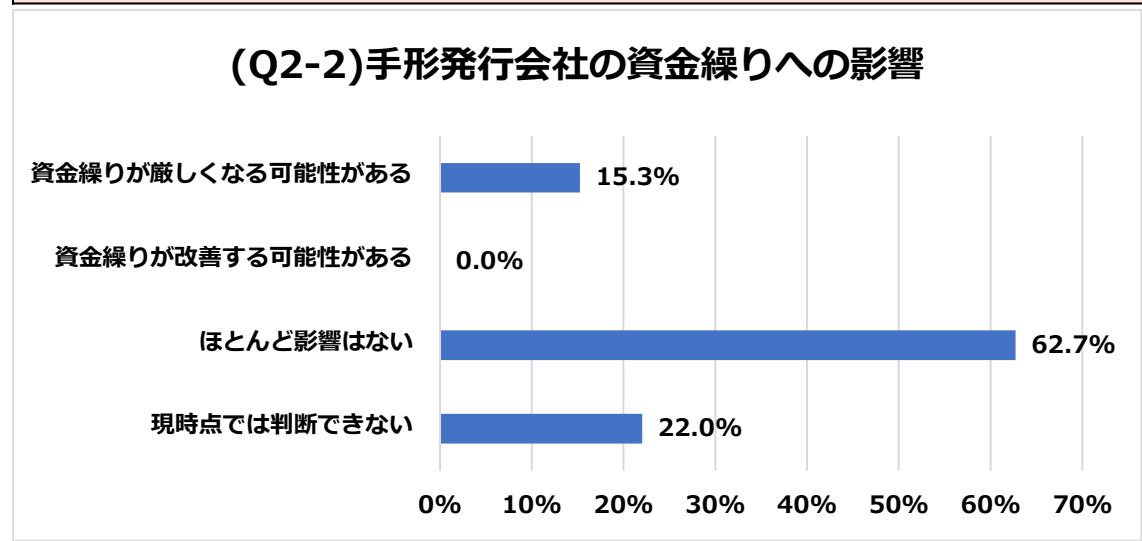
・2027年3月末をもって紙の手形・小切手が事実上廃止される見込みですが、現時点で、手形発行会社は全体の2.1%、手形受取会社は全体の4.0%、小切手を発行または受取をしている会社は全体の3.4%でした。大部分の会社にとっては大きな影響はないものと考えられます。

(Q1)で「現在、手形を発行している」と回答した会社(70社)のうち

Q2-1)手形廃止に伴い、今後の支払条件（支払サイト）はどのように変わる見込みですか



Q2-2)支払サイトの変化により、資金繰りへの影響はどのようになるとお考えですか

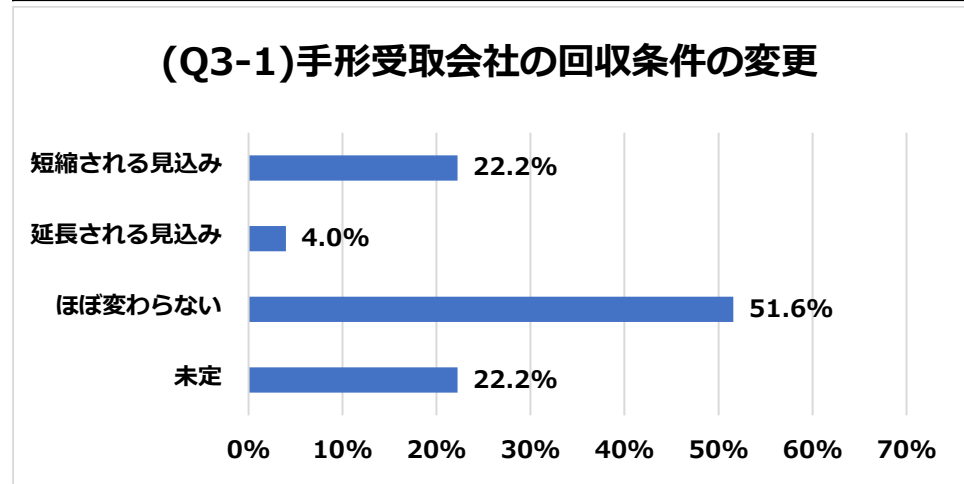


・(Q1)の質問で「現在、手形を発行している」と回答した会社のうち、支払条件（支払サイト）が「短縮される見込み」との回答は37.1%でした。

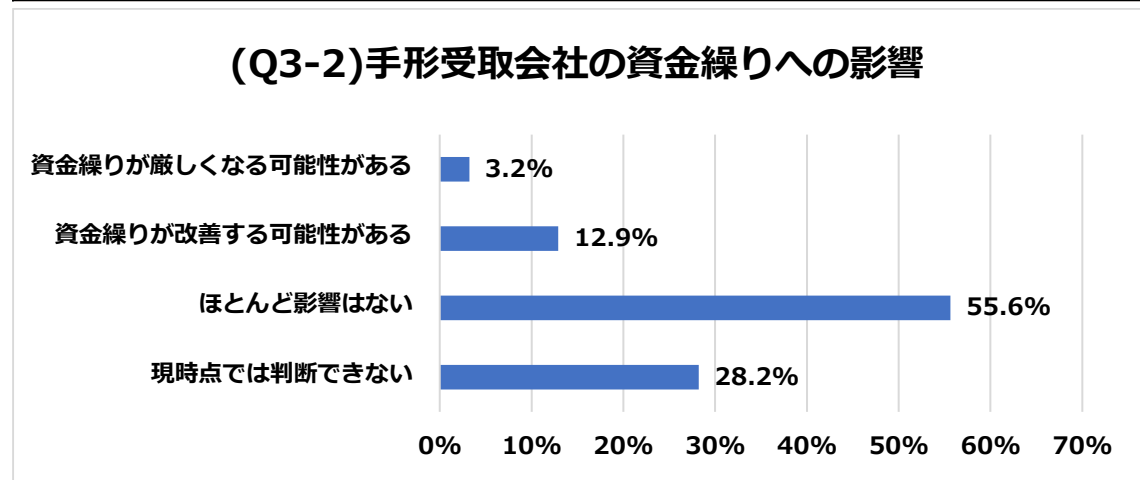
・また、このような支払サイトの変化により「資金繰りが厳しくなる可能性がある」との回答は15.3%あり、今後対応が必要になると考えられます。

(Q1)で「現在、手形を受取っている」と回答した会社(131社)のうち

Q3-1)手形廃止に伴い、売上代金の回収条件（回収サイト）はどのように変わる見込みですか



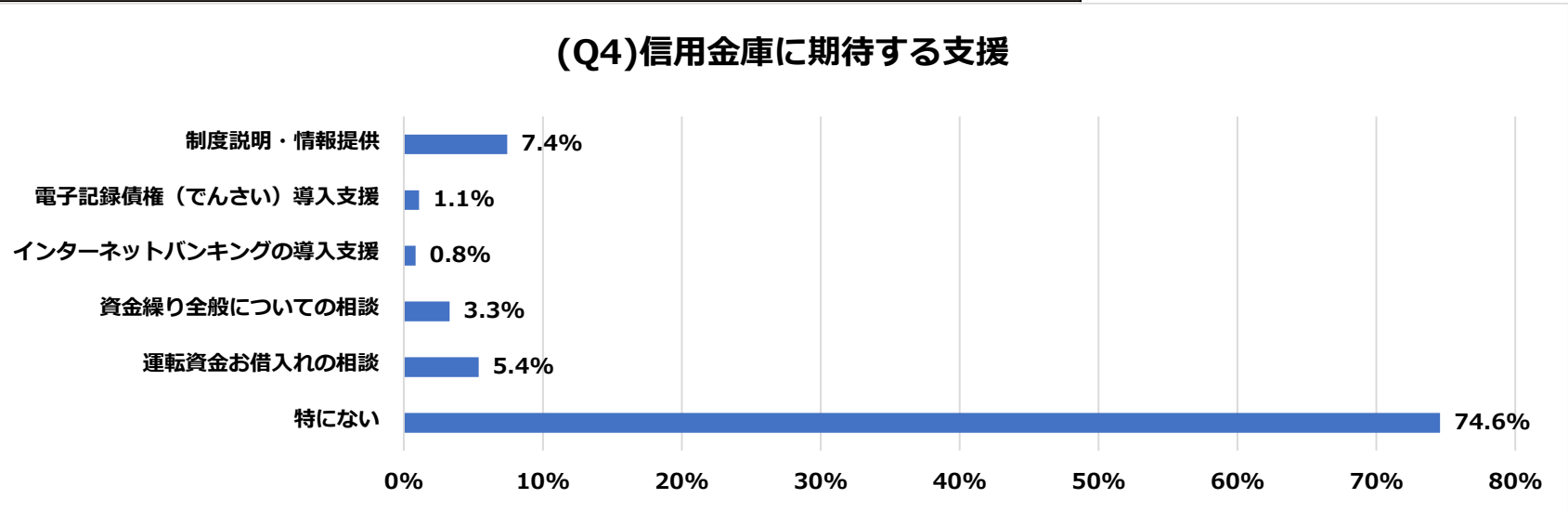
Q3-2)回収サイトの変化により、資金繰りへの影響はどのようになるとお考えですか



・(Q1)の質問で「現在、手形を受取っている」と回答した会社のうち、回収条件（回収サイト）が「短縮される見込み」との回答は22.2%、「延長される見込み」との回答は4.0%でした。

・また、このような回収サイトの変化により「資金繰りが厳しくなる可能性がある」との回答は3.2%あり、また「資金繰りが改善する可能性がある」との回答は12.9%でした。「資金繰りが厳しくなる可能性がある」と回答した会社に関しては、今後対応が必要になると考えられます。

Q4)手形・小切手廃止への対応について、信用金庫に期待する支援はありますか ※複数選択可



・手形・小切手の廃止について、信用金庫に期待する支援として、「制度説明・情報提供」はじめ、「運転資金お借入れの相談」、「資金繰り全般についての相談」のほか、「電子記録債権（でんさい）導入支援」、「インターネットバンキングの導入支援」といった回答がありました。

・当金庫は、これからもお客さまのご期待の一つ一つにこたえてまいります。

○西武信用金庫の事業支援サービス

西武信用金庫は、お客さまのご要望に関し様々な支援メニューを取り揃えております。

まずは、当金庫お取引店の担当者にご相談ください。

本文書は、西武信用金庫が著作権その他の権利を有する営業秘密です。
当金庫の許可なく複製し利用すること、また漏洩することは
「著作権法」および「不正競争防止法」によって禁じられております。